

第4学年 学級活動学習指導案

1. 題材名 「子どもたち一人一人がいごこちのよさを感じる学級集団になるために」

2. 題材と児童の実態について

(1) 題材観

現代の社会は少子化・核家族化の影響で、児童を取り巻く対人関係が希薄化している。また、情報化が進み、相手と直接向かい合っただけの関わりがなくても社会生活を送ることが可能となっている。そのため、他者に自分の思いを上手に伝えることが苦手で、不適切な行動をとってしまう児童が増えてきているように感じる。

A校は中山間地域の小規模校である。地域の高齢化は進んでいるが、2～6学年の83%が祖父母と同居をせずに生活をしている。また、3校が統合している学校のため、校区が広く、下校時に友達と交流することがない。ほとんどの学年が単級であり、1クラスあたりの児童数は30人弱である。さらには、1小1中の単線型接続ということもあり、クラス替えがなくずっと単級で人間関係が固定化されやすい状態である。そのため、高学年になるにつれて友達関係が固定化され、トラブルを抱えたまま改善されず中学校に上がっていくこともあった。他者との関わりの中で自分を認めてもらい、相手を理解することができるようなよりよい人間関係を育みにくい環境である。

そこで、友達との望ましい人間関係を築くことに課題の大きい小学校4年生を対象にし、人間関係が固定化されないようにするために、学級の実態に応じた構成的グループエンカウンター (SGE) やクラス会議の実践を通して望ましい人間関係づくりを築きたい。クラス会議とは、アドラー心理学という理論的支柱をもっており、この活動を通して、共同体感覚が高めることができるといわれている。生活上の児童の諸問題を、児童同士が話し合い、問題を解決することができるという活動である。この実践を通して、子どもたちの共同体感覚 (所属・信頼感、貢献感、自己受容感) (高坂、2014) を育みたいと考える。学級の中で、相手の気持ちを想像しながら自らの考えを主張し、折り合いをつけながら問題解決を図ることのできる力を高めていきたい。

(2) 児童観

優しく素直で、気持ちの良い挨拶ができる児童が多い。しかし、友達とのトラブルを児童間で解決することができず、学級担任に相談することが多い。5月に実施したQ-Uアンケートの結果は、縦型プロットの状態であった。一般的に、縦型プロットは、一見静かで落ち着いた学級に見えるが、学級生活を送る子どもたちの意欲には大きな差が見られると言われている。教師の指示に従い、受け身であることから、教師や大人を頼ろうとする傾向がある。また、相手の立場に立って考えようとするところから子どもと苦手な子どもがいる。何かトラブルがあると、友達関係がこじれてしまったり、自分の思いを言えずに、我慢をしようとしたりする児童もいる。

(3) 指導観

人間関係の固定化を防ぎ、誰とでも気持ちよく過ごせる温かい学級集団学級集団にしていくために、構成的グループエンカウンターとクラス会議を実施する。導入においては、まず、学級の雰囲気や温かなものにするリレーションづくりや、友達と関わるのが楽しいと感じるようなグループ活動等を体験

させる。学級の中には、書く活動を苦手としている児童もいるので、構成的グループエンカウンターでは、友だちとコミュニケーションをとる活動を中心に学習活動の計画を立てていきたい。他者理解や自己理解を促すエクササイズを取り入れ、友だちに対する多面的な見方や考え方を知り、新たな自分や友だちの姿を発見することは楽しく、みんな違ってみんないいということが分かり、クラス会議に向けての土壌を作っていきたい。そして、クラス会議実施につなげていきたい。

3. 題材の目標

さまざまな活動を通して、新しい自分を発見し、自分への理解を深め、集団の一員としての自己の役割に気づき、自らよりよい人間関係を築こうとする。また、活動を通して、多面的な見方や考え方をし自己理解や他者理解を深め、お互いに認め合える中で、一人一人がいごちの良さを感じる学級集団を作ることの大切さに気づく。

4. 題材の評価規準

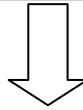
| (1) 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 | (2) 集団の一員としての 思考・判断・実践 | (3) 集団活動や生活についての 知識・理解 |
|---|--|---|
| ①意欲的に活動に取り組み、自分自身を振り返るとともに、新しい自分を見つけようとしている。 ②自己や学級内の生活上の課題に関心を持ち、意欲的に解決に向けて取り組もうとしている。 ③さまざまな見方や考え方を受け入れ、自分や友だちのよさを積極的に見つけようとしている。 | ①ルールやマナーを守って、活動しようとする。 ②自分の考えを持ち、相手の立場に立って考えている。 ③よりよい生活を送るための方法について考え、判断し、協力して実践しようとしている。 | ①みんなで楽しい学級生活をつくる大切さを理解している。 ②相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解している。 ③自分のよさや友だちのよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。 |

5. 題材のねらいと評価の計画

【人間関係づくり（構成的グループエンカウンター）（クラス会議）】

| プログラム | 活動のねらい | 関 | 思 | 知 | 主な評価規準 |
|----------------|--|---|---|---|------------------|
| ①印象ゲーム | 楽しく推測し合って、お互いを理解する。友だちからの答えと理由を聞いて、自己理解を深める。 | ◎ | ○ | | (1) -① (2) -② |
| ②4つの窓 | 集団の中に自分と同じ考えの人がいることに気づかせ、リレーションを促進する。また、選ぶものにはいろいろな理由や考え方があることを知り、同じものを選んでも違うものを選んでもみんな違ってみんないいことに気づく。 | ○ | | ◎ | (1) -③ (3) -③ |
| ③なんでも バスケット | 他者理解を通して、友達との温かい関係をつくる。また、ルールを守って活動することはみんなが気持ちよく過ごせることにつながるということに気づく。 | | ◎ | ○ | (2) -① (3) -① |
| ④うれしい話の 聞き方 | 相手を不愉快にする話の聞き方を体験し、自分を振り返る。上手な聞き方をされる気持ちのよさを体験し、行動のめあてを持つ。 | | ◎ | ○ | (2) -③ (3) -② |

| | | | | |
|-----------|---|---|---|------------------|
| ⑤ご注文はどっち？ | 二者択一することにより自己決定・自己理解するとともに、自分とは違う考えがあることに気づく。 | ○ | ◎ | (1) —③ (3) —③ |
|-----------|---|---|---|------------------|



| | | | | |
|------------|--|---|---|------------------|
| クラス会議をしよう！ | 学校生活上の個々の課題を学級全体で解決に向けての話し合いをし、相手の立場に立って、課題を解決することで、よりよい人間関係にしていくことの大切さに気づく。 | ○ | ◎ | (1) —② (2) —② |
|------------|--|---|---|------------------|

★Ⅰ期は、まずリレーションづくりをして、次にいろいろな物の見方や考え方がああることを知るエクササイズをすることによって、自己理解、他者理解を促せることができるようなプログラムを配置した。Ⅱ期は、クラス会議を中心とした計画を立てるようになる。

6. 授業

(1) プログラム名「印象ゲーム」(1/5)

①本時のねらい

楽しく推測し合って、友達からの答えと理由を聞いて、自己理解を深める。

②評価規準

・意欲的に活動に取り組み、自分自身を振り返るとともに、新しい自分を見つけようとしている。

(1) —① 【関心・意欲・態度】

・自分の考えを持ち、相手の立場に立って考えている。

(2) —② 【思考・判断・実践】

③準備物 ワークシート 振り返りカード 筆記用具

④展開(30分)

| | 学習活動 | 授業者の支援・留意点 | 評価規準 |
|-------------------|---|---|-------------------------------------|
| インストラクション (5分) | ①どんなゲームをするかを知る。 | ○真剣に友だちのことを考えるということを伝える。 ○実際にやってみせる。 | |
| エクササイズ (20分) | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分や友だちの新しい発見をしようパート①</div> ②班の人数分の用紙に、推測した答えを書く。 ③1人ずつ順番に答えを発表して、他の人は答え合わせをする。 | ○時間を設定して、自分の予想を書くように声かけをする。 ○自分が思っている友だちの印象は合っているか、自分の印象はどうかということを考えながら聞くようにさせる。 | (2) —② 【思考・判断・実践】 (ワークシート、発言) |
| シェアリング (5分) | ④感想を発表し、振り返りをする。 | ○グループで感想を出し合った後に、全体で共有する。 ○振り返りシートに、感じたことや、思ったことを記入する。 | (1) —① 【関心・意欲・態度】 (振り返りシート) |

(2) プログラム名「4つの窓」(2/5)

①本時のねらい

集団の中に自分と同じ考えの人がいることに気づかせ、リレーションを促進する。また、選ぶものにはいろいろな理由や考え方があることを知り、同じものを選んででも違うものを選んででもみんな違ってみんないいことに気づく。

②評価規準

- ・さまざまな見方や考え方を受け入れ、自分や友だちのよさを積極的に見つけようとしている。
(1) - ③ 【関心・意欲・態度】
- ・自分のよさや友だちのよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。
(3) - ③ 【知識・理解】

③準備物 振り返りカード 4つの窓カード 筆記用具

④展開(20分)

| | 学習活動 | 授業者の支援・留意点 | 評価規準 |
|----------------|--|---|----------------------------------|
| インストラクション (3分) | ①どんなゲームをするかを知る。 | ○みんな楽しく活動できるように、ルールやマナーを守ることを伝える。 | |
| エクササイズ (15分) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自分や友だちの新しい発見をしようパート②</div> ②テーマについて、4つの選択肢から自分にぴったり合うものを1つ選ぶ。 ③それぞれのコーナーを見て、自分の選んだものの場所に行く。 ④同じものを選んだ人と選んだ理由を伝え合う。 ⑤次の項目について同じように進めていく。 | ○時間を決めて取り組ませ、自分の選んだものを見つけて動くように声がけする。 ○自分が選んだ理由や感想を短い言葉で伝え合えるように、例を出して取り組めるようにする。 ○項目を確認して、次の活動に取り組みやすいようにする。 | (1) - ③ 【関心・意欲・態度】 (発表・観察) |
| シェアリング (2分) | ④振り返りをする。 | ○振り返りシートに、感じたことや友達への新しい発見について記入する。 | (3) - ③ 【知識・理解】 (ワークシート) |

[4つの窓]

- ①好きな色は? …赤、青、黄、緑
- ②好きな食べ物は? …カレーライス、ラーメン、おすし、スパゲッティ
- ③困ったり、迷ったりする時は? …おかしを買う時、文房具を選ぶ時、洋服を買う時、外食メニューを選ぶ時

(3) プログラム名「なんでもバスケット」(3/5)

①本時のねらい

他者理解を通して、友達との温かい関係をつくる。また、ルールを守って活動することはみんなが気持ちよく過ごせることにつながるということに気づく。

②評価規準

- ・ルールやマナーを守って、活動しようとする。
(2) - ① 【思考・判断・実践】
- ・みんな楽しい学級生活をつくる大切さを理解している。
(3) - ① 【知識・理解】

③準備物 振り返りカード 筆記用具

④展開(20分)

| | 学習活動 | 授業者の支援・留意点 | 評価規準 |
|----------------|---|---|------------------------------------|
| インストラクション (2分) | ①どんなゲームをするかを知る。 | ○いろいろな友だちと交わることを伝える。 | |
| エクササイズ (16分) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自分や友だちの新しい発見をしようパート③</div> ②円になるように椅子を並べ、先生がオニになり、始める。 ③児童が交代して行う。 | ○ルールを守って、活動することを伝える。 ○みんなが動きやすい簡単な質問をして、児童が進んでできるようにする。 ○自分の答えと同じかどうかを、よく聞くように声がけをする。 | (2) - ① 【思考・判断・実践】 (観察) |
| シェアリング (2分) | ④振り返りをする。 | ○活動を通して、思ったことやわかったことを一人一人が発表し合う。 | (3) - ① 【知識・理解】 (発表・振り返りシート) |

(4) プログラム名「うれしい話の聞き方」(4/5)

①本時のねらい

相手を不愉快にする話の聞き方を体験し、自分を振り返る。上手な聞き方をされる気持ちのよさを体験し、行動のめあてを持つ。

②評価規準

- ・よりよい生活を送るための方法について考え、判断し、協力して実践しようとしている。
(2) - ③【思考・判断・実践】
- ・相手の気持ちを思いやった行動がよりよい生活につながることを理解している。
(3) - ②【知識・理解】

③準備物 振り返りカード トーキングカード 筆記用具

④展開(20分)

| | 学習活動 | 授業者の支援・留意点 | 評価規準 |
|----------------|---|--|---------------------------------|
| インストラクション (3分) | ①うれしい話の聞き方について振り返る。 | ○具体的にどんな姿なのかを確かめさせる。 | |
| エクササイズ (15分) | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分や友だちの新しい発見をしようパート④ 相手がうれしくなる話の聞き方を考えて、やってみよう</div> ②さいころトーキングをする。 ③やってみてどうだったか発表し合う。 | ○2人組で、出た目の数の題について、うれしい話の聞き方を意識しながら、答え合うように声がけする。 ○自分の話を聞いてもらった時の気持ちについて、振り返るようにさせる。 | (2) - ③ 【思考・判断・実践】 (観察) |
| シェアリング (2分) | ④振り返りをする。 | ○今日の活動で思ったことやわかったことを記入する。 | (3) - ② 【知識・理解】 (振り返りシート) |

(5) プログラム名「ご注文はどっち？」(5/5)

①本時のねらい

二者択一することにより自己決定・自己理解するとともに、自分とは違う考えがあることに気づく。

②評価規準

- ・さまざまな見方や考え方を受け入れ、自分や友だちのよさを積極的に見つけようとしている。
(1) - ③【関心・意欲・態度】
- ・自分のよさや友だちのよさがわかり、学級生活を送る上で、認め合う大切さを理解している。
(3) - ③【知識・理解】

③準備物 振り返りカード ご注文シート 筆記用具

④展開(45分)

| | 学習活動 | 授業者の支援・留意点 | 評価規準 |
|----------------|---|--|---------------------------------|
| インストラクション(10分) | ①だまし絵を見る。 | ○いろいろな見方ができることに気づかせる。 | |
| エクササイズ (30分) | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分や友だちの新しい発見をしようパート⑤</div> ②ご注文カードの二者択一をする。 ③班で発表し合う。 ④全体で発表する。 | ○どうしてそれを選ぶのかを考えながら、選ぶように声がけをする。 ○うれしい聞き方を意識して1人ずつ理由を言いながら、発表するように伝える。 ○自分の考えと比べながら、発表者の理由を聞くようにする。 | (1) - ③ 【関心・意欲・態度】 (発表) |
| シェアリング (5分) | ⑤振り返りをする。 | ○今日の活動で思ったことやわかったことを記入する。 | (3) - ③ 【知識・理解】 (振り返りシート) |